

令和元年度決算に係る

定期監査資料

令和2年8月

交流人口拡大本部 名古屋代表部



## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料の総括表	10 頁
7	事業別実施状況調べ	10 頁
8	予備費の充用調べ	10 頁
9	繰越関係調べ	10 頁
10	収入証紙取扱額調べ	10 頁
11	現金の取扱状況	10 頁
12	財産に関する調べ	10 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付及び使用許可調べ	11 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	11 頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
16	寄附物件の受納状況調べ	12 頁
17	備品の処分状況調べ	12 頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
19	貸付金等状況調べ	12 頁
20	企業誘致の状況	13 頁
	(1) 企業誘致の条件、目標等	
	(2) 企業訪問	
	(3) 企業の要望、課題等	

(4) その他

21	県内物産の展示、宣伝、紹介の状況	13 頁
22	観光宣伝の状況	13 頁
23	県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ	13 頁
○	意見、要望等	14 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

(3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況  
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	
定員	2	2	0	0	0	0	2	2	
現員	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	2	2	0	0	0	0	2	2	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	2	2	0	0	0	0	2	2	事務員1名 企業誘致担当1名

4 役付職員の調べ

(令和2年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
部長	岡山 佳文	0年 4月	
次長	亀谷 雅俊	1年 4月	出納員

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
「こんなに近い鳥取県！」PR事業	12,810			12,810
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
鳥取県への観光誘客にとって大きなマーケットである東海地方(圏域人口11,300千人)において、鳥取県の認知度向上及び誘客促進のため、自動車及び鉄道利用者に対してアクセスの良さ、県内観光地の魅力等のPRを行う。				
(イ) 事業の実施状況				
①自動車利用者対象				
項目	内容			
旅行情報誌を活用した情報発信	東海地方で発行される「レジャー、旅、ドライブ」情報誌に鳥取県への交通アクセス、観光情報等を掲載した。 ○「夏ぴあ(東海版)」に鳥取県特集(8ページ)を掲載(R1.5発行、6.5万部) ○掲載紙面の冊子化(R1.5発行、1万4千部)、高速道路サービスエリア、道の駅、チケットステーションで配布(うち7,500部) ○【新規】「秋ぴあ(東海版)」に鳥取県の観光情報(1ページ)を掲載(R2.8発行、4.5万部)			
高速道路サービスエリアでの情報発信	東海地方の高速道路サービスエリアで配布される広告媒体(NEXCO中日本発行)に鳥取県へのアクセス、観光情報等を掲載し、配布した(7~9月)。 ○サービスエリアガイド7月号(名神・北陸道版)(R1.7発行、51万部) ○高速家族 夏号(R1.7発行、10万部)			
②鉄道利用者対象				
項目	内容			
JR名古屋駅での情報発信  ※JR名古屋駅は東海道新幹線、JR各線(東海道、中央、関西)、名鉄、近鉄、地下鉄、あおなみ線が乗り入れる巨大ターミナル(一日平均110万人以上利用)	東海地方で最も利用者が多いJR名古屋駅で、鳥取県の冬の味覚の王者「松葉がに」の解禁にあわせ、鳥取県観光PRを実施した。 ○鳥取県観光PRイベント 〔期日〕11月4日(月・振休)~5日(火) 〔場所〕JR名古屋駅桜通口コンコース 〔内容〕ワークショップ(砂絵はがきづくり・砂の瓶詰め)、トリピーによる観光PR、アンケート抽選会、観光ポスター掲出、チラシ、パンフレット配布(1,700部) ※駅構内の旅行会社店舗内に鳥取県観光PRコーナー設置 ○鳥取県PR映像放映等 〔日時〕11月1日(金)~30日(土) 〔場所〕JR名古屋駅構内 〔内容〕スカイメディア名古屋(11/4~10)、桜通口デジタルフラッグ(11/4~10)、名古屋ツインビジョン(11/1~30)を使い、鳥取県観光PRとイベント案内を実施 ○【新規】マスコミキャラバン 〔期日〕11月8日(金) 〔内容〕とっとり観光親善大使が新聞社や放送局を訪問し、「松葉がに」の紹介や鳥取県観光PRを実施			

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 例年の夏シーズン向けに加え、新たに秋の行楽シーズンに向けて、旅行情報誌に鳥取県の観光情報（1ページ）を掲載し、広く自動車利用者等への遡及を図った。
- ・ JR名古屋駅のイベントでは、桜通口入口の上空にインパクトのある大型バナー（スカイメディア名古屋）を設置し、情報発信の充実を図った。

ウ 成果及び効果

- ・ 大規模な集客が見込める施設やメディアを活用したPRにより、鳥取県のアクセスの良さや観光の魅力を広く発信することができた。
- ・ 鳥取県へのアクセスの良さをPRし続けることにより、鳥取県に観光に向かうお客様の問合せがより具体的になった（所要時間やルート、2次交通の有無等）。
- ・ 鳥取県の宿泊旅行者に占める東海地方発地割合は前年に比べ増加した。

（旅行雑誌調査）

年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
発地割合（%）	6.8	7.6	11.6	10.7	10.6	8.4	8.4	6.9	7.3

- ・ 東海地方からの安定した観光入込客数につながった。（県観光客入込動態調査）

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
入込客数（千人）	234	325	321	413	313	323	279	273	272
対前年増減率（%）	-	138.9	98.8	128.7	75.8	103.2	86.4	97.8	99.6

- ・ JR名古屋駅のイベントでは、11月9日（土）～10日（日）にタカシマヤで開催した松葉がに即売会と連携を図ることで、前年より売上増につながった。

エ 課題

- ・ 鳥取県に対する認知度は高まっているが、引き続き効果的なPRを継続して実施する必要がある。
- ・ 単なる観光PRではなく、交流人口、関係人口の増加、拡大を見据えた内容の情報発信にシフトしていく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県の魅力発信事業	4,555			4,555
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				

## ア 目的及び事業の実施状況

## (ア) 目的

鳥取県への観光誘客にとって大きなターゲットとなる東海地方（圏域人口 11,300 千人）において、鳥取県の認知度向上及び誘客促進のため、テレビ、新聞などメディアの活用やイベント参加等により、鳥取県の観光や特産品等の情報発信を行う。

## (イ) 事業の実施状況

## ① メディアを活用した情報発信

## ○ 中京テレビ（委託料 250 万円）【鳥取西道路観光情報発信事業】

情報番組「ぐっと」（8/30 放送）で、「今、最注目！？鳥取県で癒しの旅」をテーマに、鳥取西道路の開通や道の駅「西いなば気楽里」の鳥取グルメ、鳥取砂丘セグウェイ体験、旬の二十世紀梨・新甘泉などを紹介した。

## ○ テレビ愛知（委託料 88 万円）

「イベント情報」（2/24、3/1、3/22 放送）で、知事インタビューによる鳥取県の日本一（カニの水揚げ、和牛の肉質、星空の美しさ）、鳥取県へのアクセス向上や鳥取県の観光の魅力を PR した。

## ○ 中日新聞（委託料 263 万円）

中日新聞「市民版」（名古屋市全域で 50 万部発行）で、4 回にわたり鳥取県の旬の話題を紹介した。

- ・ 「鳥取西道路の開通でグンと近くなった！鳥取中部まで行ってみよう（6/29）」

- 【観光情報提供事業】

- ・ 「“鳥取西道路が全線開通！鳥取県の周遊がますます便利に！！（7/13）」

- 【鳥取西道路観光情報発信事業】

- ・ 「11 月 6 日（水）によいよ解禁 松葉がにの本場“鳥取へ GO！”（11/3）」

- 【観光情報提供事業】

- ・ 「観光列車で巡る春の鳥取（3/29）」【観光情報提供事業】

## ○ 【新規】大人の名古屋（委託料 108 万円）【鳥取西道路観光情報発信事業（一部）】

大人の名古屋 vol. 48（9/30 発行）で、鳥取の旅をテーマに鳥取西道路の開通や鳥取砂丘、大山の紅葉などの観光スポット、松葉がに、鳥取和牛、地酒などの鳥取グルメを紹介した。

## ○ 報道機関へのニュースリリース

随時

## ② イベント実施による情報発信

項目	内容	来場者数等	時期・場所等
事務所での情報発信	名古屋代表部入口にパンフレットコーナーを設置し、情報を発信した。	—	H31 年 4 月～ 名古屋代表部
東山動植物園での PR	全国有数の集客力を誇る東山動植物園「春まつり」に参加し、ファミリー層等に鳥取県 PR を実施した。	約 3 万人 (1 日)	R1 年 5 月 5 日(日・祝)～6 日(月・振休)
夏山フェスタでの PR	名古屋唯一の山岳関連イベント「第 7 回夏山フェスタ」に参加し、鳥取県 PR を実施した。	約 8 千人 (2 日間計)	R1 年 6 月 8 日(土)～9 日(日) 愛知県産業労働センター
鳥取県観光情報説明会の開催	県観光連盟に協力し、東海地方の旅行会社を対象に県内の観光施設・旅館等が参加する説明会を開催した。	旅行会社 51 人、 県内観光関係 41 人	R1 年 5 月 9 日(水) 名古屋国際ホテル
刈谷ハイウェイオアシスでの PR	入場者数全国 3 位の遊園地として多くの利用者で賑わう刈谷ハイウェイオアシスで鳥取県 PR を実施した。	約 2～3 万人	R1 年 7 月 28 日(日) ※台風で 27(土)は中止 刈谷ハイウェイオアシス

①東山スカイタワーでのPR	鳥取・富山・石川県の3県合同で、東山動植物園で行われたナイトズー期間中に鳥取県PRを実施した。		R1年8月10日(土)～12日(月) 東山スカイタワー
鳥取県観光情報説明会の開催	県観光連盟に協力し、東海地方の旅行会社を対象に県内の観光施設・旅館等が参加する説明会を開催した。	旅行会社36人、県内観光関係26人	R1年9月4日(水) 名古屋国際ホテル
ふるさと全国県人会まつりへの参加	「ふるさと全国県人会まつり2019」に東海鳥取県人会と共同で参加し、特産品販売やとっとり観光親善大使による鳥取県PRなどを実施した。	約16万8千人 (2日間計)	R1年9月7日(土)～8日(日) 久屋大通公園
リレーマラソンでのPR	大型スポーツイベント「ナゴヤドーム6時間リレーマラソン2019」に参加し、鳥取県PRを実施した。	約4万人	R1年10月19日(土) ナゴヤドーム
その他イベントでのPR	各種イベントに参加し、観光コーナー設置等により鳥取県PRを実施した。		ふるさとフェア～全国センター合同物産観光展～in金山 R1年11月26日(火)～30日(土) 金山総合駅
		124人	東海鳥取県人会 R1年5月25日(土) 名古屋国際ホテル
		119人	とっとりビジネスフォーラム in 名古屋 R2年2月6日(木) キャッスルプラザ

③ 集客施設でのPR

集客の多い施設等で鳥取県の観光PRを実施した。  
イオン東員(5/19)、イオン八事(7/13)

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・鳥取西道路の開通(5/12)や新名神高速道路の新規開通など交通インフラの整備にスポットを当て、鳥取県へのアクセス向上を集中的にPRした。
- ・他県と連携して、観光PRを行った。

ウ 成果及び効果

- ・大規模な集客が見込める施設やメディアを活用したPRにより、鳥取県のアクセスの良さや観光の魅力を広く発信することができた。
- ・鳥取県へのアクセスの良さをPRし続けることにより、鳥取県に観光に向かうお客様の問合せがより具体的になった(所要時間やルート、2次交通の有無等)。
- ・鳥取県の宿泊旅行者に占める東海地方発地割合は前年に比べ増加した。  
(旅行雑誌調査)

年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
発地割合(%)	6.8	7.6	11.6	10.7	10.6	8.4	8.4	6.9	7.3

- ・東海地方からの安定した観光入込客数につながった。(県観光客入込動態調査)

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
入込客数(千人)	234	325	321	413	313	323	279	273	272
対前年増減率(%)	-	138.9	98.8	128.7	75.8	103.2	86.4	97.8	99.6

エ 課題

- ・鳥取県に対する認知度は高まっているが、引き続き効果的なPRを継続して実施する必要がある。
- ・単なる観光PRではなく、交流人口、関係人口の増加、拡大を見据えた内容の情報発信にシフトしていく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
ふるさと鳥取県産業・観光センター設置 運営事業	7,437		435	7,002

鳥取元気プロジェクト

元気づくり総合戦略

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

東海地方の拠点として名古屋代表部を運営するほか、鳥取県とゆかりの深い方々(経済人、県人会等)との連携強化及び県産品の販路開拓のため各種物産展への参加、店舗等での試食販売を行う。

(イ) 事業の実施状況

① 鳥取県ゆかりの経済人との情報交換会

〔日時・場所〕令和元年7月25日(木)、美味しい野菜と魚 じねん

〔参加人数〕13人

〔主な参加者〕

(敬称略)

職名	氏名
中京テレビ放送(株) 相談役	山本 孝義
東海鳥取県人会 会長	可世木 博
愛知県立美術館 館長	南 雄介
アイシン精機株式会社 執行役員	黒柳 美明
今井航空機器工業株式会社 代表取締役	今井 哲夫
株式会社ソーワテクニカ 代表取締役社長	角 庄司
マルサンアイ株式会社 管理統括部長	磯村 智
株式会社名古屋銀行 岐阜支店長	松原 卓二
大山ハム株式会社 名古屋営業所長	河本 明人
野村證券株式会社 名古屋支店営業部	久野 正和

○ 主な意見

- ・自身の周辺にも鳥取県を訪れる人が増えており、個人的に観光地や食べ物などを紹介している。
- ・県産食材はどれも美味しく魅力的ではあるがどのように売っていくのかが課題。

② 県人会との交流

東海鳥取県人会総会(R1.5.25)、浜松鳥取県人会意見交換会(R2.3.7)、高校同窓会(鳥取西、米子東、倉吉東、米子高専、米子工業)に出席し、県の情報提供やふるさと納税の呼びかけ、意見交換を行った。

③ 全国センター合同物産観光展「ふるさとフェア」への参加

県物産協会の協力を得て、金山総合駅で開催された物産展ふるさとフェア(全国物産観光センター連絡協議会(鳥取県を含む18県1市で構成。)主催)に参加し、県産品の販売を実施した。

〔期間〕令和元年11月26日(火)～30日(土)

④ 【新規】7県による合同物産展への参加

県物産協会の協力を得て、久屋中日ビル内に事務所のある有志7県で合同物産展を開催し、県産品の販売を実施した。

〔期間〕平成31年4月22日(月)～26日(金)

令和元年7月16日(火)～19日(金)

⑤らっきょう漬け方講習会の開催

鳥取県の特産品である砂丘らっきょうの消費拡大のため、地元生産者を講師に招き、らっきょうの漬け方講習会を実施した。

〔日時〕令和元年6月5日(水)

〔場所〕名古屋市東生涯学習センター

〔参加人数〕50人(2部制) ※参加費1千円。

⑥百貨店、スーパーでの県産品試食販売

東海地方における県産品の消費拡大のため、市場開拓局、関西本部の協力を得て、集客の多い百貨店、スーパーで旬の県産品の試食販売を実施した。

〔期間〕令和元年6月15日(土)～16日(日)
〔場所〕ジェイアール名古屋タカシマヤ
〔内容〕クロマグロのPR販売と解体ショーの実施
〔期間〕令和元年6月22日(土)～23日(日)
〔場所〕ヤマナカ(フランテ)8店舗(名古屋市、春日井市、多治見市内)
〔内容〕鳥取すいか、乳製品等の宣伝販売等
〔期間〕令和元年8月30日(金)～9月1日(日)
〔場所〕ジェイアール名古屋タカシマヤ
〔内容〕鳥取県産二十世紀梨と新甘泉の試食販売等
〔期間〕令和元年9月1日(日)
〔場所〕ヤマナカ(フランテ)8店舗(名古屋市、春日井市、多治見市内)
〔内容〕鳥取県産二十世紀梨と新甘泉の試食販売等
〔期間〕令和元年11月9日(土)～10日(日)
〔場所〕ジェイアール名古屋タカシマヤ
〔内容〕鳥取県産松葉がにの試食販売
〔期間〕令和元年11月30日(土)～12月1日(日)
〔場所〕ヤマナカ(フランテ)8店舗(名古屋市、春日井市、多治見市内)
〔内容〕鳥取県産白ねぎ、大山ブロッコリーの試食販売等

⑦JR名古屋駅レストランでの鳥取県フェア開催

ジェイアール東海フードサービスの協力により、JR名古屋駅のレストラン6店舗で1カ月間にわたり鳥取県食材を用いたフェアを開催した。併せて対象メニューを食事された方に先着で「星空舞」をプレゼントし、PRを実施した。

〔期間〕令和元年11月1日(金)～30日(土)

〔場所〕みやび(そば、日本酒)、キッチンなごや(味噌カツ)、Curry & Beer WAVE(カレー)、驛釜きしめん(きしめん)、カフェジャンシアーヌ(カフェ)、銀座イタリー亭(イタリアン)

〔内容〕紅ズワイガニを使用したそば・きしめん・ピザ、吉川豚を使用した味噌カツ・カツカレー、鳥取和牛の牛スジのリガトーニ等

⑧名古屋市内の飲食店での鳥取フェア開催

名古屋市内の飲食店の協力により、鳥取県産食材を使ったメニューを提供するフェアを1週間開催し、PRを実施した。

〔期間〕令和元年11月11日(月)～16日(土)

〔場所〕松と豚(名古屋市中区)

〔内容〕親がにをメイン食材に、サワラ、ヒラメなどの魚介、白ねぎ、ブロッコリーなどの野菜、とうふちくわ等

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・JR名古屋駅レストランフェアの実施期間を11月に変更(昨年度は6/20～7/20)、実施店舗を6店舗に拡大(昨年度は4店舗)し、JR名古屋駅での情報発信事業と連携することで相乗効果を図った。
- ・鳥取県産品の良さを知っていただくため、今回初めて久屋中日ビル内に事務所のある有志7県による合同物産展を開催した。

ウ 成果及び効果

- ・ 県の施策に対する貴重な提案・提言をいただくとともに、東海地方の鳥取県ネットワークの拡大につながった。（経済人との情報交換会新規参加者2人）
- ・ 旬の特産品を消費者に直接お届けすることで、県産品の知名度向上、品質の評価につながった。

エ 課題

- ・ 東海地方の鳥取県出身者及びゆかりの方は人数的には多くはないが、これまで築き上げたネットワークを基盤として、さらなる人脈の拡大に努める必要がある。
- ・ 現在、東海地方の大学へ通う県出身大学生にアプローチできていないため、Uターン就職等の観点からもアプローチが求められる。
- ・ 東海地方における県産品のより一層の知名度向上、販路拡大のため、今後も旬の特産品を直接消費者に届ける取組を継続する。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
企業立地推進事業	—			
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
東海地方からの企業誘致及び企業間取引を促進する。				
(イ) 事業の実施状況				
①企業誘致活動の実施				
進出の可能性がある企業を抽出して訪問し、県の立地環境プレゼンテーションを実施した。(「27企業誘致の状況」に記載)				
②とっとりビジネスフォーラム in 名古屋				
鳥取県の立地環境等の東海地方企業へのPRを目的としたフォーラムを開催した。				
〔期日〕令和2年2月6日(木)				
〔場所〕キャッスルプラザ				
〔参加者数〕119人(東海地方企業等108人、県内参加者11人)				
〔プログラム〕				
基調講演	「弱くても勝てる、強くても負ける」 学校法人鳥取学園 理事長 石浦外喜義氏			
交流会	参加企業等との交流会			
③公立鳥取環境大学東海地区企業懇談会				
入学者が増加している東海地方で開催する企業懇談会に参加協力した。				
〔日時〕令和元年12月12日(木)				
〔場所〕愛知県産業労働センター				
〔参加者数〕東海地方企業28社37人				
〔プログラム〕大学、学部の紹介、学生研究発表、就職支援センターの取組紹介				
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
・ビジネスフォーラムでは、鳥取県を拠点にグローバルな活動を行っている方による講演を行い、鳥取県の知名度向上に努めた。				
ウ 成果及び効果				
・7回目となるビジネスフォーラムは毎回100人近くの参加者があり、年1回の鳥取県PRの場として定着した感がある。				
エ 課題				
・企業の経営戦略や課題を素早く察知し、鳥取県への誘致につなげるため、切れ目ない情報収集と企業訪問によるアプローチが必要である。				
・経済団体等も通じながら、より一層の人脈形成を図っていく必要がある。				

- 6 決算資料 別途提出
- 7 事業別実施状況調べ 別途提出
- 8 予備費の充用調べ 別途提出
- 9 繰越関係調べ 別途提出
- 10 収入証紙取扱額調べ 有・ 無
- 11 現金の取扱状況 該当なし
- 12 財産に関する調べ
- (1) 公有財産 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況  有 ・ 無

イ タクシーチケットの受払状況

(令和2年1月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		差引未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
197枚	100枚	172枚 295,120円	125枚

(3) 基金 該当なし

(4) 債権

(令和2年1月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				差引		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
名古屋代表部事務所 借上げに係る敷金	1,502,820円	1	円		円		1,502,820円	1	
名古屋代表部倉庫借 上げに係る敷金	78,024円	1					78,024円	1	
合計	1,580,844円	2					1,580,844円	2	

13 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用料)(円)		貸付(使用許可)先 住所 氏名	備考
							単価	本年度の 貸付(使用料)		
貸付不動産	事務所	名古屋市中区栄 4-16-36 久屋中日ビル	3.3㎡	H31.4.1	H31.4.1	H31.4.1 ~R2.3.31	年額	130,570	鳥取県鳥取市若葉台南7-5-1 (公財)鳥取県産業振興機構	
	事務所	名古屋市中区栄 4-16-36 久屋中日ビル	3.3㎡	H31.4.1	H31.4.1	H31.4.1 ~R2.3.31	年額	130,570	鳥取県鳥取市相生町4-411 (公社)鳥取県観光連盟	
計								261,140		
合計								261,140		

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの) 該当なし

14 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受 (使用) 目的	所在地	数量又 は面積	契約の状況				借受先 住所 氏名	備考
					契約書 の有無	借受期間	借料(円)			
							単価	本年度の借料		
建物	鉄筋11階建 地上5階	名古屋代表部 事務室	名古屋市中区栄 4-16-36 久屋中日ビル	82.800㎡	有	H31.4.1 ~ R2.3.31	月額 250,470	3,276,147	名古屋市中区栄4-1-1 中日本ビルディング株式会社 代表取締役社長 金森昭夫	
建物	鉄筋11階建 地下2階	名古屋代表部 倉庫	名古屋市中区栄 4-16-36 久屋中日ビル	9.706㎡	有	H31.4.1 ~ R2.3.31	月額 23,489	307,235	名古屋市中区栄4-1-1 中日本ビルディング株式会社 代表取締役社長 金森昭夫	
合計				92.506㎡				3,583,382		

- 15 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 16 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 17 備品の処分状況調べ 該当なし
- 18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
- (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 有 ・ 無
- (2) 物品の照合 有 ・ 無
- 19 貸付金等状況調べ 該当なし

## 20 企業誘致の状況

### (1) 企業誘致の条件、目標等

- ① 目標
- ・企業誘致（見込を含む。） 1社以上
  - ・経営戦略として進出計画を持つ企業の発掘 3社以上
- ② 目標達成に向けた方策
- ・次世代を見据えた大胆な誘致活動の実施
  - ・企業情報の分析をベースにした計画的な誘致活動の実施
  - ・多様な進出形態に対応するための万全の準備
  - ・誘致活動の確実なレビューと継続的なアプローチ

### (2) 企業訪問

- ① 訪問企業数 146社

#### ② 内訳

区分	既誘致企業 (0社)	令和元年度新規開拓企業 (83社)	その他 (63社)
業種 (主なもの)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・工作機械製造</li> <li>・メカ部品製造（自動車、航空機等）</li> <li>・電気機器製造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械製造</li> <li>・医薬品製造</li> <li>・食品加工</li> </ul>

### (3) 企業の要望、課題等

- ・企業の経営戦略や業界動向をいち早く察知し、鳥取県への企業誘致につなげる切れ目ない情報収集と企業訪問によるアプローチが必要である。
- ・経済団体等とのつながりを通して、より一層の人脈形成を図っていくことが必要である。

### (4) その他

## 21 県内物産の展示、宣伝、紹介の状況

「6 主な事業に関する調べ」に記載

## 22 観光宣伝の状況

「6 主な事業に関する調べ」に記載

## 23 県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ

(令和2年1月31日現在)

団体名	職員数 人	当初入居 の年月日	面積 ㎡	職員1人 当たりの 面積 ㎡	使用料 貸付料 (月又は年額) 円	減免率 %	共益費等の 負担方法	備考
公益社団法人鳥取県 観光連盟	1	H19.4.1	3.3	3.3	月額 10,780	—	面積割	
公益社団法人鳥取県 産業振興機構	1	H18.4.1	3.3	3.3	月額 10,780	—	面積割	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし